

2022（令和4）年度 第3回組織等検討委員会 議事録

開催日時：令和5年1月15日（日） 14:00～15:00

開催場所：中中村集会所

出席者：宮崎委員長、（上中村）國本、（中中村）伊藤、佐藤（下中村）足立原（以上委員）
江口（会長）、藤原（会計）、冨塚（庶務）

松永上中村自治会長、長尾中中村自治会長、森田下中村自治会長

敬称略

司会：宮崎委員長

記録：國本

議事

（1）委員会の在り方検討の論点：

- ・各委員会のあり方、存続や新規設立、さらに上部団体との関係も検討の必要がある。
- ・各委員会の設置要項に記載されている設置事項を確認。
五役会と委員会の関係性についての確認が必要。
- ・白線設置委員会については、目的を達成しているので今年度解散しても良いと思われる。

各種意見：

- ・今年役員をやった感想では委員会は五役会をサポートする組織という認識。
専門性の高い委員会での議論での五役の役割を考え直す必要がある。
役員の負担を軽減するために、議論の部分は委員会に任せ、五役会は決済という考え方もある。
委員会と五役会との議論の相違については意見調整する必要もある。
- ・役員の出席すべき会議の数が多く負担が重い。
不要な会議は廃止しなければ、次の担い手がない。
今回上中村で役員選出に困難を期待しているが、それは中、下も同じ状況。
今後、自治会の枠を外して中村町内会を一つにまとめる・外部委託等の改革が必要だと思う。
→ 町内会の構成に関する議論は、総会議決マターであり組織検討委員会の枠を超える。
← どこかでその声を上げる必要があるのではないか。

方向性：

- ・委員会については、白線設置推進委員会以外は継続し、自治会長の会議参加は厳選する。

（2）上中村の課題：

- ・現在の上中村の選考状況は？
→ 町内会長交渉は頓挫しており、上中村から町内会長を出すことはできない。
出せない以上、上中村は中村町内会から脱退するしかない。
← 自治会が中村町内会から抜けるという議論は別の議論、協議が必要。
- ・選考の期限を決めて状況対応を考える必要がある。
→ 1月末を選考の期限とし、2月4日に対応策の検討会を開く。
参加者は各自治会の役員OBに声をかける。
選考のサポートについては町内会長、組織検討委員長とで協議し対応を考える。

以 上